厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）
分担研究報告書

北海道における受検～受診～受療に至る効果検証と質向上のための肝炎医療コーディネーター養成のあり方

研究分担者　小川浩司　北海道大学病院　消化器内科　助教

研究要旨

北海道において 2017 年度より合計 4 回の肝炎医療コーディネーター（肝炎 Co）研修会を開催し、合計 520 名の肝炎 Co を養成した。依然として札幌圏が 383 名と多かったものの、すべての二次医療圏に肝炎 Co が配置された。2017、2018 年度養成者の活動状況を解析したが、肝炎ウイルス検査の受検勧奨、肝炎に関する知識の普及・啓蒙、肝疾患患者の相談対応、医療費助成制度の説明、服薬指導、肝炎検査陽性者の受診勧奨等がされていた。2020 年度は COVID-19 感染拡大により、肝炎 Co の養成、研修活動に対する制限が多かったが、今後も北海道および道内 3 大学の拠点病院と連携し、オンラインを取り入れながら活動を継続していく予定である。

A．研究目的

肝炎から肝硬変、肝癌への移行を減らすためには、肝炎ウイルスによる肝病態の進展抑制が必要である。そのためには肝炎ウイルス検査の受検、受診、受療の促進が必要である。肝炎医療コーディネーター（肝炎 Co）は肝炎に関する基礎的な知識や情報を提供し、肝炎への理解の浸透、相談に対する助言や相談窓口の案内、受検や受診の勧奨、制度の説明などを行うこととされ、2017 年 4 月に都道府県に養成するように通知されている。

北海道においては 2017 年度に初めて肝炎 Co 研修会を開催し、2020 年度までに合計 4 回の肝炎 Co 研修会を開催した。2020 年度は COVID-19 感染拡大のため、例年より規模を縮小しオンラインによる研修会を行った（図 1）。本報告では北海道における肝炎 Co の現状及び問題点について報告する。

図1　北海道における肝炎医療コーディネーター研修会

B．研究方法

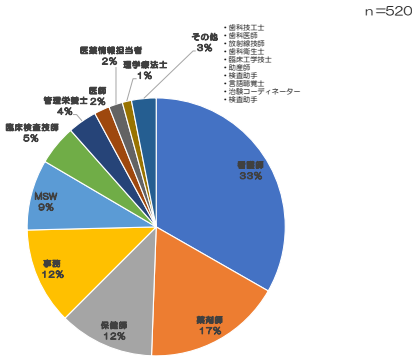
2017-2020 年度の北海道における肝炎 Co の養成状況を解析するとともに、2017、2018 年度の養成者を対象とした活動報告調査から、肝炎 Co の活動内容について解析した。さらに、COVID-19 感染下における肝炎 Co フォローアップ状況について検討した。

C．研究結果

肝炎 Co の養成状況

北海道においては 2020 年度までに合計 520 名の肝炎 Co を養成した。職種別では看護師 33%、薬剤師 17%、保健師 12%、事務職 12%、MSW9%、5%、管理栄養士 4%、医師 2%、医薬情報担当者 2%、理学療法士 1%などであった（図 2）。

図2　北海道肝炎医療コーディネーター（職種別）



医療圏別では依然として札幌圏が 383 名と多かったものの、21 ある二次医療圏すべてに肝炎 Co が配置された（図 3）。また、保健師も 20 二次医療圏に配置された（図 4）。

図3　肝炎医療コーディネーター（二次医療圏別）

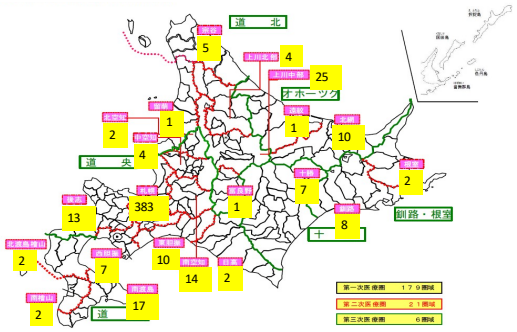
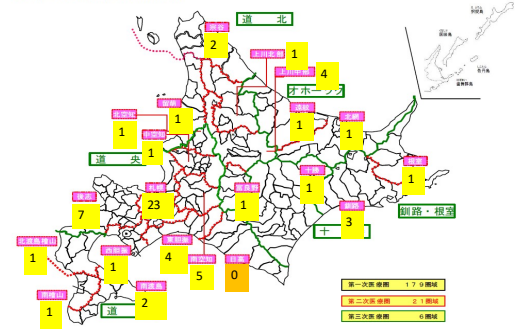


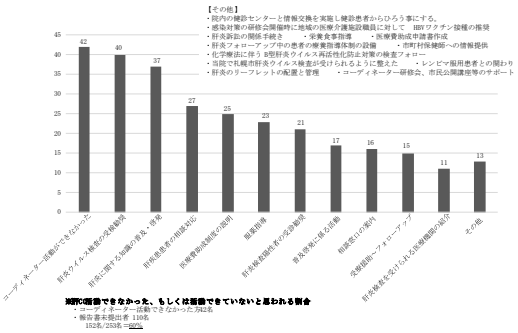
図4　肝炎医療コーディネーター保健師配置状況（二次圏域別）



肝炎 Co の活動状況

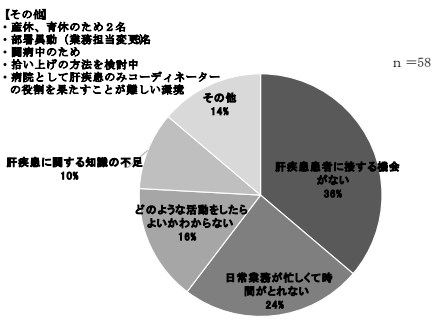
2017、2018 年度肝炎医療コーディネーター253 名を対象として、活動状況を調査した。回答率は 143 名（56.5%）で、肝炎ウイルス検査の受検勧奨 40 名、肝炎に関する知識の普及・啓蒙 37 名、肝疾患患者の相談対応 27 名、医療費助成制度の説明 25 名、服薬指導 23 名、肝炎検査陽性者の受診勧奨 21 名が主な活動であった。しかし、今年度十分な活動が出来なかった肝炎 Co も 42 名存在していた（図 6）。報告書未提出 110 名と合わせると合計 152 名（全体の 60%）の活動状況が把握できなかった。

図5　肝炎医療コーディネーターの活動状況



活動できなかった理由としては、肝疾患と関わる機会がない（36%）、日常業務が忙しく時間がとれない（24%）、どのような活動をしたらいいかわからない（16%）、肝疾患に関わる知識の不足（10%）などであった。

図6　活動できなかった理由



肝炎 Co へのフォローアップ状況

北海道大学病院肝疾患相談センターは北海道、札幌医科大学附属病院肝疾患センター、旭川医科大学病院肝疾患相談支援室と連携し、肝炎 Co を対象とした講演会や研修会を開催している。2019 年度は、肝炎 Co のみを対象として 2019 年 10 月 5 日に肝炎 Co フォローアップ研修会、2019 年 12 月 9 日にはグループワークも取り入れたスキルアップセミナーを開催した。しかし、2020 年度は COVID-19 感染拡大により集合型の研修会開催は困難であったため、2021 年 1 月 23 日－2 月 12 日オンデマンド配信による研修会を開催した（図 7）。

図7　肝炎医療コーディネーターへのフォローアップ研修会

D．考察

北海道にて 2017 年から 2020 年度に合計 4 回の研修会を開催し、合計 520 人の肝炎 Co を養成した。依然として札幌圏に集中しているが、21 ある二次医療圏全てに肝炎 Co が配置された。北海道は広大であるが、人口は札幌を中心とする道央地区に集中している。地方は肝疾患専門医療機関、肝臓専門医は少なく、肝炎診療の均てん化は課題として残っている。その意味でも肝炎医療コーディネーターの果たす役割は大きいと考えられる。さらに、保健師も 20 二次医療圏で配置することが出来た。地方においては保健師の果たす役割も多く、今後も北海道と連携して、特に地方の保健師が研修会に参加できるように働きかけていく。

肝炎 Co への活動状況の調査では、様々な活動がされていたが、未報告と併せると約 60%の活動状況が把握できなかった。肝炎 Co の置かれている仕事環境により十分な活動が難しい方が約 60%存在していたが、今後のフォローアップにより 26%近くは改善が見込めると考えられた。肝炎 Co の人数を増やすことも重要ではあるが、今後養成した肝炎 Co が十分な活動を出来るように、フォローアップ研修やセミナーなどで、スキルアップ、モチベーションを維持することが重要と考えられた。2020 年からの COVID-19 感染拡大により、肝炎 Co 養成研修会は Web 配信となり、研修会もオンデマンド配信による 1 回のみであった。例年は集合型での開催であるため、札幌一極集中となっていた。地方の肝炎 Co を配置、研修するためにも、今後は積極的なオンライン活用を図ることが重要と考えられた。

E．結論

北海道においては 4 回の研修会により合計 520 名の肝炎 Co を養成し、すべての二次医療圏に肝炎 Co が配置された。今後も、北海道及び 3 大学の拠点病院と連携し、オンラインを駆使して、肝炎 Co の拡充、研修会などのフォローアップを行う予定である。

F．健康危険情報

特記事項無し

G．研究発表

1．論文発表

特記事項無し

２．学会発表

北海道における肝炎医療コーディネーター養成状況　肝臓61巻Suppl.1 A255（2020/04）

Ｈ．知的所有権の取得状況

１．特許取得

特記事項なし

２．実用新案登録

特記事項なし

３．その他

特記事項なし